

Q1 地域の医療の現状の認識(充足していると思う医療・不足していると思う医療)					Q2 今後自院にて始めたいと考えている取組				
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市	小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
<p>充足している医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ診療所 ○精神病床(身体合併症を除く) 		<ul style="list-style-type: none"> ○精神科一般病棟 ○慢性期病院 			<ul style="list-style-type: none"> <自院の診療機能の向上> ○在宅医療 ○地域ニーズの高い認知症患者の受け入れ ○精神身体合併症(精神合併妊婦を含む)への対応の充実 ○急性期を脱した精神身体合併症患者が一般精神病院に転院するまで入院管理する専用病床(精神病床)の新設 <地域との連携強化> ○地域における在宅医療・介護との連携(院外・院内多職種連携と情報共有) ○地域医療連携ICTネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> <自院の診療機能の向上> ○障害者歯科外来の拡大 ○地域包括ケア病床の拡大、転換型老健 <地域との連携強化> 	<ul style="list-style-type: none"> <自院の診療機能の向上> <地域との連携強化> ○地域医療における患者情報の共有訪問事業(往診、訪問看護、訪問リハビリ)の実施を検討 ○多職種研修の企画 ○多職種事例検討会 	<ul style="list-style-type: none"> <自院の診療機能の向上> <地域との連携強化> 	<ul style="list-style-type: none"> <自院の診療機能の向上> ○在宅医療 <地域との連携強化>
<p>不足している医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○訪問診療 ○介護保険施設(有料老人ホームは充足しているが、圧倒的に老健は少ない) ○看取りを出来る施設 ○脳神経外科医 ○医歯薬連携 ○訪問看護 ○精神身体合併症例に対する医療 ○ハイリスク分娩 ○精神合併分娩 	<ul style="list-style-type: none"> ○産科医療の体制 ○小児救急医療 ○呼吸器・婦人科の受け入れ先 ○介護療養型病床 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症のBPSDに対応できる病院 ○認知症患者の合併症が悪化した時に対応してくれる病院 ○精神科病棟でも対応が難しい患者さんを受け入れてくれる病院 		<ul style="list-style-type: none"> ○急性期、回復期がともに不足 ○医療に強い老人保健施設 ○眼科・耳鼻科・泌尿器科等専門診療科領域 ○在宅機能の医療提供体制 ○夜間、休日の三次救急又は整形外科疾患 ○緊急手術等の受け皿となる医師・医療機関 					

Q3 自院の役割を担う上で課題と感じていること				
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
<p><医療機関間・地域との連携></p> <p>○在宅からの入院体制と在宅への支援体制の構築</p> <p>○夜間・休日の検査体制 (精密な検査等ができるような体制を組むことができず、救急の受け入れが限られてしまう)</p> <p>○介護職(ケアマネや地域包括ケアセンター職員)との情報共有</p> <p>○ICTネットワーク導入に向けた地域医師会や医療圏内病院との理解共有</p> <p><人材の確保・育成></p> <p>○訪問診療医の確保</p> <p>○精神看護に関する職員の研修体制</p> <p><普及啓発></p>	<p><医療機関間・地域との連携></p> <p>○重症心身障害児者のデイケアの定員の増加</p> <p>○地域の在宅部門との連携、急性期病院とのさらなる連携</p> <p><人材の確保・育成></p> <p>○常勤歯科医の確保</p> <p><普及啓発></p>	<p><医療機関間・地域との連携></p> <p>○車いす、寝たきり患者の治療後の受け入れ先確保</p> <p>○休日・夜間の受入体制の整備</p> <p><人材の確保・育成></p> <p>○介護スタッフ不足、看護師不足</p> <p>○人員不足(SW、退院調整看護師)</p> <p>○消化器、循環器、整形外科における医師不足</p> <p><普及啓発></p> <p>○院内・院外の医療・介護・福祉職・行政の知識・理解の温度差や感覚の相違</p>	<p><医療機関間・地域との連携></p> <p><人材の確保・育成></p> <p><普及啓発></p>	<p><医療機関間・地域との連携></p> <p>○精神疾患を持った患者の対応(救急受入れ等)</p> <p><人材の確保・育成></p> <p>○医師、看護師をはじめとする医療スタッフの不足</p> <p>○地域医療ニーズに対応出来る専門診療医の確保</p> <p>○医師確保</p> <p><普及啓発></p> <p><その他></p> <p>○施設の老朽化に伴う改築・移転(場所やコスト等)</p>

Q4 各機能(高度急性期機能・急性期機能・回復期機能・慢性期機能)及び在宅医療に望むもの					
	小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
高度急性期機能					
急性期機能					
回復期機能	○地域包括ケア病棟で、本来の設置目的を果たしておらず、急性期の病院が、平均在院日数(7対1入院基本料)と病床稼働率の維持のために有している傾向が多く見受けられる。				○回復期機能のベッド不足
慢性期機能	○在宅医療中の高齢者についても、在宅で看取りを行ってほしい。				
在宅医療		○在宅療養の開始の早さ(特にターミナルの場合)			
その他	○介護施設入所中で看取りの対象にあたる高齢者については、介護施設内で看取りを行ってほしい。	○ホスピスに入れない(面接までに数か月かかる)	○各職種や専門分野における多機能・多職種の役割機能の認識と相互理解		不足とされる医療機能も含めた地域の完結を検討する必要がある。

Q5 予測される将来の医療の状況、将来の医療体制を検討するにあたっての考え方				
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
<p><予測される将来の医療の状況></p> <p><将来の医療体制を検討するにあたっての考え方></p> <p>○地域包括ケアシステムには連携が重要であり、そのためには、行政が中心となり、情報共有のためITを導入することが必要</p> <p>○一般病院のみならず精神病院ともスムーズな病病連携が構築されており、将来の医療提携体制の検討は、一般急性期および回復期は二次医療圏単位で行うことが望ましい。</p> <p>○高度急性期については、二次医療圏を超えた医療供給体制も検討する必要がある。</p> <p>○高度急性期の区部への集約化は、さらなる高齢化がすすむ将来において患者・家族の負担が大なるものと予想される。患者・家族の観点からも、可能な限り、隣接する複数の二次医療圏を含めた範囲での医療提供体制の構築が望ましい。</p> <p><その他></p>		<p><予測される将来の医療の状況></p> <p><将来の医療体制を検討するにあたっての考え方></p> <p>○慢性期医療への需要は今後も高水準で続くと予想しており、在宅復帰への貢献とバランスをとりながら、今の病床規模を維持していく必要がある。</p> <p><その他></p>		<p><予測される将来の医療の状況></p> <p><将来の医療体制を検討するにあたっての考え方></p> <p><その他></p> <p>○高齢者の患者が多くなり、医師、看護、介護のマンパワーがもっと必要になる。</p>

Q6 地域における将来に向けての不安・課題					
	小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
医療連携	○地域の医療職や介護職間での多職種連携が欠かせず、そのためには情報共有が極めて重要となる。情報共有を推進するための域医療連携ICTネットワークを早急に構築する必要がある。				○小児科が少ない
在宅医療の提供や地域包括ケアシステムの構築	○情報の共有が困難 ○地域包括ケア病棟の役割について、医療従事者への啓発・周知が不十分なため、機能が十分に発揮されていない。		○地域医療・介護・福祉について地域住民の意識改革 ○病院の医療・福祉職や在宅医療・介護・福祉職、地域住民への啓発と教育		
人材の確保・育成	○専門医制度への対応、総合診療医の育成、特定の専門医不足、在宅医不足		○医師、看護師、介護士の人材確保・育成 ○職員の離職を減らす方策 ○教育と協働による人材育成と人材確保		○労働人口が減少する中で医療スタッフの確保
その他	○このまま少子高齢化の傾向が続くと、患者への医療・介護のみならず、医療人材の減少も懸念される。施設基準の要件を患者の重症度等で分別するだけではなく、根本的な病院としての機能も要件として盛り込むべき。 ○不均衡な地域医療救急センターの指定、すなわち二次救急指定病院にもかかわらず地域医療救急センターへの不参加が許されているのが現状。		○救急患者の応需率を高めるだけでなく、患者をいかにマネジメントし、地域にスムーズに戻すかという循環するシステムの構築が必要。 ○地域の開業医との連携を強化していくことを通じて、在宅分野への役割を広げられるよう努力したい。		○施設老朽化による将来に渡る医療提供の継続

Q7 今後調会議で取り扱うべきと考えるテーマ					Q8 その他				
小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市	小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
<p>○在宅医療・介護連携推進協議会との連携</p> <p>○地域医療構想と地域包括ケアシステムとの整合性連携調整(歯科、薬剤を含めて)</p>		<p>○高齢世帯、認知世帯(認知症高齢世帯)、高齢独居・生活保護独居・身寄り無し、精神障害・身体障害含む世帯、小児領域の医療・介護・福祉に関すること</p>							<p>○様々な医療関係施設の機能の情報共有</p> <p>○夜間、日祝日の救急患者の受入問題</p>